

オープンデータの未来は「対話」で変わる

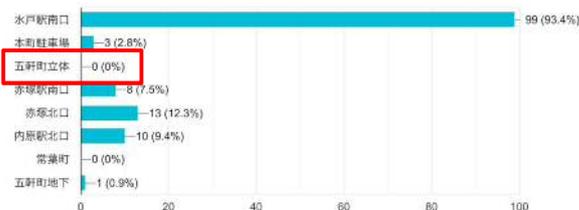


～市営駐車場×食品ロス～

右図は、大原ビジネス公務員専門学校水戸校に在籍している生徒を対象にアンケートを実施した結果だ。

結果は、駐車場の利用場所に偏りが出ており、特に、水戸市の中心地にある「五軒町立体駐車場」を利用した人がいなかった。また、「アルバイト先などでは、余った食品をどのように消費しているのか」という質問に対して、**全体の約5割以上**の人が「廃棄する」と回答した。

使用した駐車場を教えてください。(複数選択可)
106件の回答



アンケート結果

駐車場と食品ロスのそれぞれのデータだけでは、新しいことを考えることに力不足なところがある。

駐車場と食品ロスを掛け合わせることで、それぞれの課題を解決する力になり、水戸市の活性化に繋がると考える。

防災マルシェの開催

野菜として
食べてもらいたい!



食品ロス
規格外野菜の販売
食材活用の理解促進

市営駐車場の活用
＝非常時の避難所
非常時の利用を周知できる



利用率・防災意識を
高めていきたい!

規格外野菜が
“もったいない”

防災

空いている駐車場が
“もったいない”

【イベントを通して】

災害時...市街地へ野菜をスムーズに届けられる

「MitriO」とは?

水戸芸術館と水戸市民会館、水戸京成百貨店の3つの施設が一体となった区画の愛称。新たにできた市民会館と茨城県唯一の百貨店、そして、多彩で魅力あふれる複合文化施設の芸術館が連携して、水戸市の中心市街地を活性化させることを目指している。